

秋田県教育委員会（所在地：秋田県）

事業名

秋田県「障害者の生涯学習支援モデル事業」

事業の趣旨・目的

- ・学校卒業後の障害者の学びの場がさらに拡充し、持続可能な体制の構築を目的として関係者が協議する「地域連携コンソーシアム」や本事業の理解啓発のための「共生社会コンファレンス秋田大会」を実施する。
- ・将来的には、全ての県民が、障害の有無にかかわらず学び続けることができ、地域で互いを支え合うことができるような共生社会の実現を目指す。

事業実施体制・連携先

コンソーシアムの構成員…大学教授、障害者就業・生活支援センター長、相談支援専門員、県手をつなぐ育成会長、県特別支援学校PTA連合会長、県障害者スポーツ協会長、障害者アート団体代表、障害当事者、再委託先団体代表者、市生涯学習・障害福祉担当課長、県立特別支援学校長、県障害福祉課長、県教育庁特別支援教育課長

事業内容

- ①関係機関の参画による「地域連携コンソーシアム」の形成
 - ・「地域連携コンソーシアム」の開催（6月、11月、2月）
 - ・委員が得意とする分野や役割を基に協議を重ね、関係機関の連携の強化
- ②学校教育法第105条に基づく履修証明書の発行を見据えた新たな学習プログラムの開発
 - ・秋田大学における生涯学習講座を、昨年度の2講座から10講座に増設して開催
- ③障害者の学びの場を継続的なものとするための方策の検討
 - ・県内全市町村教育委員会を訪問しての事業説明
 - ・再委託先団体の一つによる生涯学習講座に関する保護者アンケートの実施
- ④地域における関係団体・支援者・障害当事者等が参加するコンファレンスの実施
 - ・「共生社会コンファレンス秋田大会」の開催（オンライン）
 - ・神戸大学大学院津田英二教授による講演、県内で障害者の生涯学習講座に関わる方々によるシンポジウムの実施

研究の成果と課題

【成果】

- ・「地域連携コンソーシアム」では、取組を広め持続する方策について少人数グループで協議し課題や解決方法についてまとめた。また、どうすれば持続可能になるか、次年度の取組に繋がる具体的な方法について案を出し合った。
- ・障害者の生涯学習について、新たに社会教育中期計画に記載した市町村が増えてきており、徐々に取組の広がりが見られるようになってきた。
- ・再委託先団体の一つが、公民館の既存の講座を活用し、障害者も参加する講座の開催を積み重ねた。講座の認知が広がってきており、障害のある方から参加申込みについて問い合わせが来るようになった。

【課題】

- ・県内全ての市町村に障害者の生涯学習支援を広げていくことを目標に掲げているが、市町村によって取組の実態に差がある。取組に対する必要性を感じている市町村が増えていることから、できることから始められるようモデル事業等の情報を引き続き発信していく。

その他研究の詳細など



地域連携コンソーシアム
議事録（美の国あきたHP）



コンファレンス秋田大会
グラレコ（美の国あきたHP）



NPO法人違い(再委託先)の
YouTubeによる活動紹介



【コンファレンスの講演視聴】



【コンソーシアムでの協議】



【秋田大学生涯学習講座の様子】